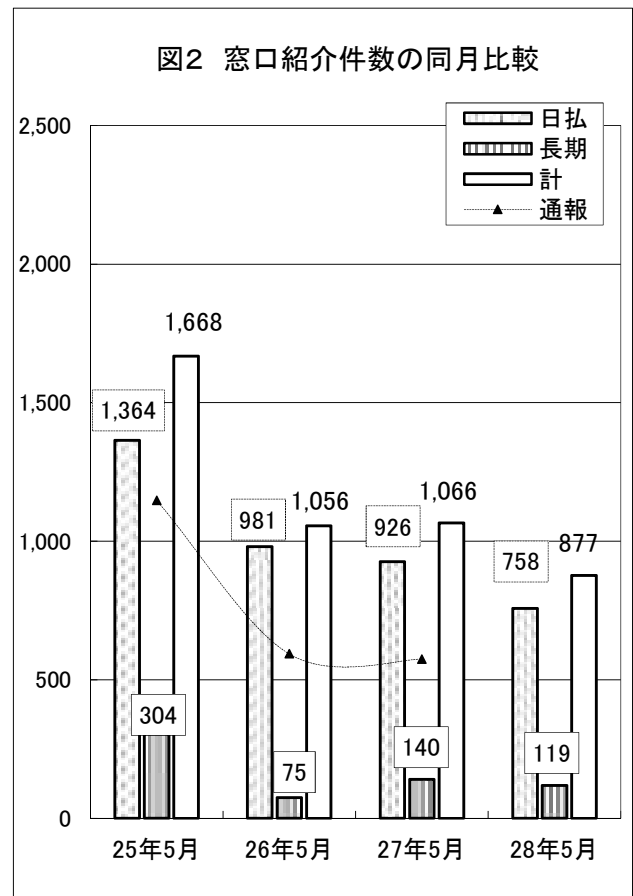
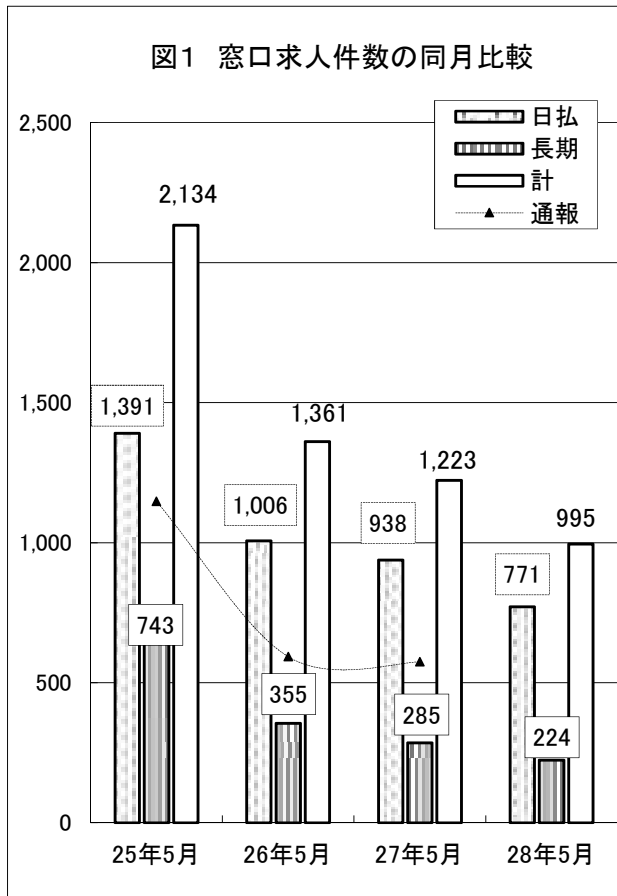


～職業紹介事業の実績(5月)～

(1) センター窓口における求人件数及び紹介件数の概要

職業紹介事業におけるセンター窓口からの求人件数及び紹介件数は、図1及び図2のとおりであった。平成28年5月の窓口求人件数は995件で、27年5月に比べて228件の減少(△18.6%)となった。窓口紹介件数は877件となり、27年5月に比べて189件の減少(△17.7%)となった。窓口紹介件数を雇用期間区分別にみると、日払は前年同月比で168件の減少(△18.1%)、長期は21件の減少(△15.0%)となった。



窓口求人	25年5月	26年5月	27年5月	28年5月	前年比	増減率(%)
日払	1,391	1,006	938	771	△167	△17.8
長期	743	355	285	224	△61	△21.4
計	2,134	1,361	1,223	995	△228	△18.6

(参考)

通報	1,147	593	574			
求人総数	3,281	1,954	1,797			

窓口紹介	25年5月	26年5月	27年5月	28年5月	前年比	増減率(%)
日払	1,364	981	926	758	△168	△18.1
長期	304	75	140	119	△21	△15.0
計	1,668	1,056	1,066	877	△189	△17.7

(参考)

通報	1,147	593	574			
紹介総数	2,815	1,649	1,640			

*「長期」は、求人・紹介ともに延べ数(人数×日数)

*「通報」とは、登録事業所へ労働者が直接就労した場合で、かつ、その事業所から通報があった件数であるが、「通平成27年12月末をもって廃止した。

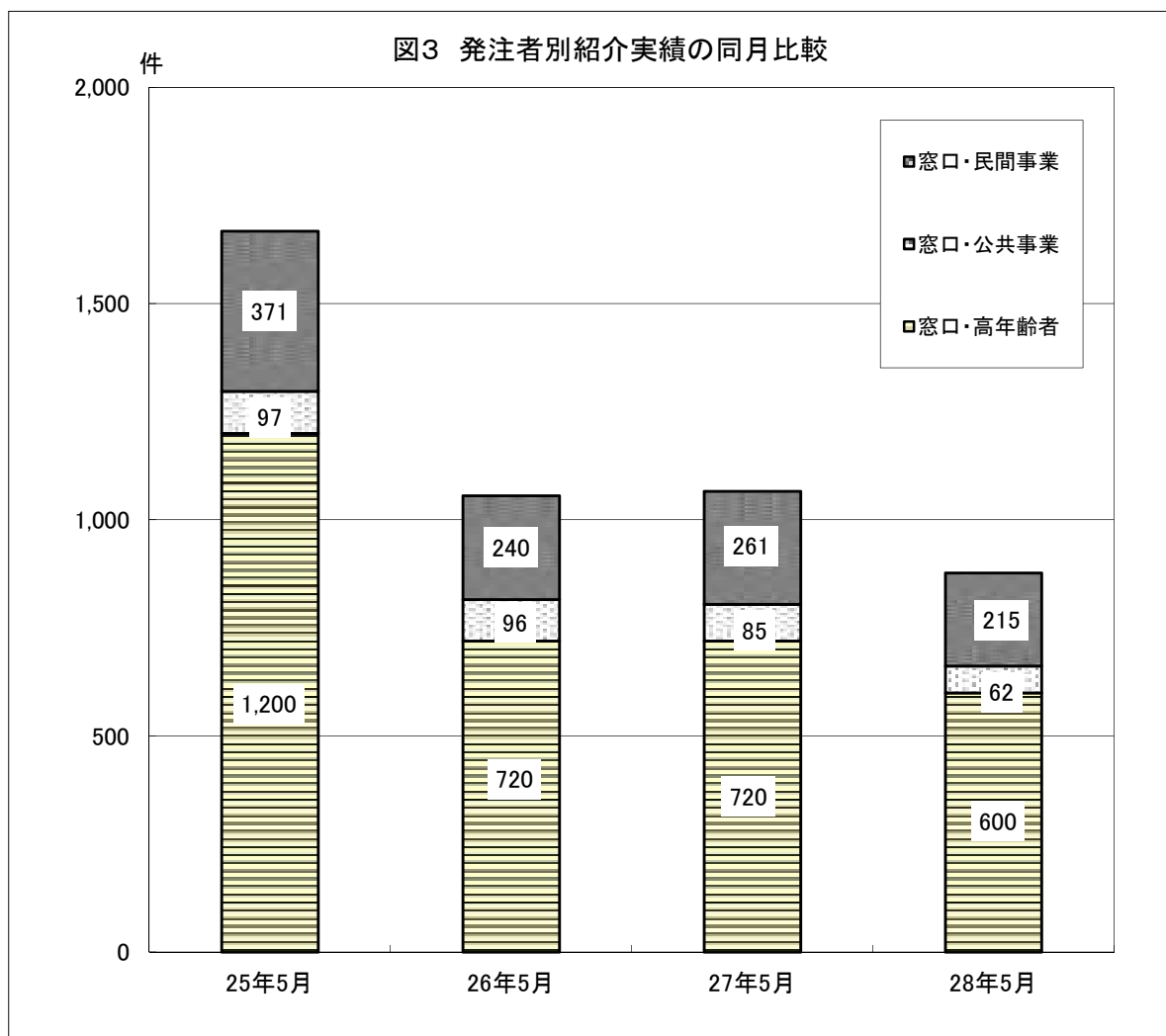
(2) 紹介区分別

センター窓口からの紹介実績は、紹介区分（仕事の内容（＝発注者）別）で以下のように分けられる。

- ①民間事業
- ②公共事業（特別就労対策事業以外で、都や区など公共団体が発注している清掃等の仕事）
- ③東京都の「高年齢者特別就労対策事業」（＝輪番紹介）

図3より、センター窓口からの紹介実績をみると、

- ①「民間事業」は46件の減少（前年同月比 Δ 17.6%、日払は46件の減少、長期は前年と同数）
 - ②「公共事業」は23件の減少（前年同月比 Δ 27.1%）
 - ③「高年齢者特別就労」は120件の減少（前年同月比 Δ 16.7%）
- 窓口計では、189件の減少（前年同月比 Δ 17.7%）となった。



	25年5月	26年5月	27年5月	28年5月	前年比	増減率(%)
窓口・民間事業	371	240	261	215	Δ 46	Δ 17.6
窓口・公共事業	97	96	85	62	Δ 23	Δ 27.1
窓口・高年齢者	1,200	720	720	600	Δ 120	Δ 16.7
窓口計	1,668	1,056	1,066	877	Δ 189	Δ 17.7

(3) 紹介実員数

ここでは紹介の延べ件数ではなく、「『何人』に仕事を紹介したか」という観点から、紹介実績の動向をみる。図4のとおり平成28年5月の紹介実員数(=窓口計)は764人、27年5月に比べ170人の減少(△18.2%)となった。

民間事業では、日払の紹介実員数は105人(前年151人)と46人の減少となり、長期は5人(前年7人)と2人の減少となった。輪番による公的就労を除いた、民間ベースの窓口紹介実績は一日平均5.8人であった。

図4 紹介実員数の同月比較

		27年5月	28年5月	前年同月比増減数	増減率(%)
窓 口	民間事業	158	110	△48	△30.4
	公共事業	56	54	△2	△3.6
	高齢者特別就労	720	600	△120	△16.7
紹介実員数(窓口計)		934	764	△170	△18.2

※労働者の高齢化、建設現場の機械化、就業構造の変化などにより、日雇労働市場が衰退し、野宿が常態化している労働者も少なくない。

こうした状況の中で、都や区の公共事業を受注した事業所に積極的に働きかけて、センターに未登録であれば登録を促すとともに、登録済みの事業所にも定期的に訪問して、建設・土木だけでなく、高齢者にも従事しやすい清掃や造園の民間求人確保に努めている。

～生活相談・応急援護事業の実績(5月)～

(1) 受付総数・相談件数(一日当たり受付数・相談数)

図5のとおり平成28年5月の生活相談件数は586件で、27年5月に比べ22件の減少(△3.0件/1日平均)となり、77か月連続して前年同月比マイナスとなった。

新規来所件数は12件であった。

図5 受付・相談の月総数及び一日平均の前年同月比較

	月総数				一日平均			
	27年5月	28年5月	増減数	増減率(%)	27年5月	28年5月	増減数	
受付	576	555	△21	△3.6	32.0	29.2	△2.8	
新規	8	12	4	50.0	0.4	0.6	0.2	
生活相談	608	586	△22	△3.6	33.8	30.8	△3.0	
内 訳	医療相談	9	6	△3	△33.3	0.5	0.3	△0.2
	生活保護等	4	5	1	25.0	0.2	0.3	0.1
	労働相談	17	30	13	76.5	0.9	1.6	0.7
	応急援護	497	441	△56	△11.3	27.6	23.2	△4.4
	その他相談	81	104	23	28.4	4.5	5.5	1.0
相談数(計)	616	598	△18	△2.9	34.2	31.5	△2.7	

* 来所者が1回の受付で複数の相談を行う場合があるため、受付件数と相談件数は一致しない

(2) 応急援護の内訳

図 6-1 及び図 6-2 のとおり、宿泊相談は月合計で前年同月比 74 件の減少 (△29.7%)、給食相談は 4 件の増加 (2.2%)、物品相談は 8 件の増加 (12.7%)、交通費相談は 6 件の増加 (120%) となった。

なお、5 月の開所日数は、本年度は 19 日間、27 年度は 18 日間、26 年度は 20 日間、25 年度は 21 日間であった。

図6-1 応急援護数(内訳)の同月比較

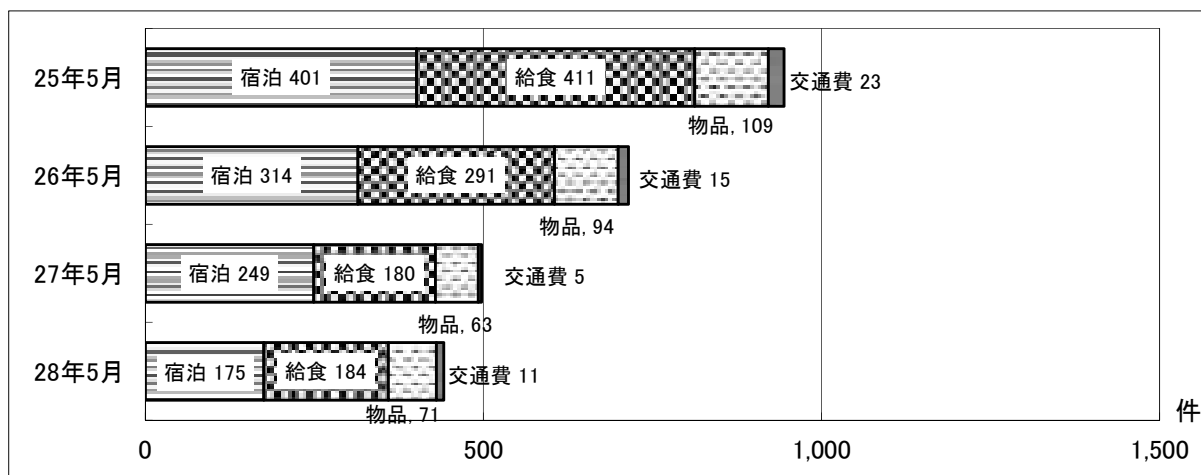


図6-2 応急援護数一日平均(内訳)の同月比較

